

2018年10月24日
イオンフィナンシャルサービス株式会社
株式会社イオン銀行

「東京グリーンボンド」(5年)第2回への投資について

イオンフィナンシャルサービス株式会社(代表取締役社長:河原健次、以下、当社)の子会社である株式会社イオン銀行(代表取締役社長:新井直弘)は、このたび、東京都が発行するグリーンボンド「東京グリーンボンド」(発行総額100億円:5年債50億円、30年債50億円)に投資したことをお知らせします。

グリーンボンドは、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。東京グリーンボンドは、国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、セカンド・パーティー・オピニオンを取得しています。(セカンド・パーティー・オピニオン発行者:ISS-oekom)

東京都は、2016年12月に策定した「2020年に向けた実行プラン」において、環境先進都市、国際金融・経済都市として成長を続ける「スマートシティ」の実現を掲げており、グリーンボンド発行による調達資金は、気候変動への適応、スマートエネルギー都市づくり、生活環境の向上に関連した事業等に充当される予定です。

当社およびイオン銀行は、昨年度に引き続き、「東京グリーンボンド」への投資を通じて、東京都の環境施策にも貢献してまいります。

引き続き、当社およびイオン銀行は、今後も「金融サービスを通じ、お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業」という経営理念のもと、社会の持続可能な発展に貢献してまいります。

【ご参考】

イオンフィナンシャルサービス 環境に対する取り組み
<http://www.aeonfinancial.co.jp/activity/environment/>

以上